

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ賞表彰事業							事業コード	650131					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	13 体育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
計画期間	開始年度	昭和46年度		終了予定年度	令和10年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市スポーツ賞基金条例、福知山市スポーツ賞に関する規則													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	全国大会等で活躍した競技者の栄誉を称え、競技力の更なる向上とスポーツの普及・振興を図ることを目的とする。					
対象者	全市民		対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	172		172		172		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		172		172		172							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	172		172		172							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	172		172									
	③ 執行額	44		57									
	④ 執行率	25.6%		33.1%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.29	/	0.00	0.29	/	0.00			
	② 概算人件費	1,760		2,320		2,320		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,804		2,377		2,320		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	スポーツ賞基金繰入金(スポーツ賞表彰事業基金繰入)		種類	基金繰入金		49		決算付属資料	36		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	受賞者件数	件	5	/	5	1	/	5	2	/	5
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	候補者照会先	団体	20	/	20	20	/	20	21	/	20
	単位あたりコスト		4.9		2.2		2.7				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	全国大会等で優秀な成績を挙げた選手を顕彰する事業であり、選手や競技団体の意識の向上が期待でき、その意義は大きい	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事業の性格上、受益者(受賞者)に負担を求めるものではなく、受賞者の栄誉を顕彰するものであり妥当な水準である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	市内の競技者の栄誉を顕彰することで、競技者意識や競技力の向上にも有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・表彰対象者に漏れがないよう、対象者把握のための情報収集を徹底する。		
改 善 策	・様々な新競技、大会が実施される中で、賞の価値を維持するため、事前の調査を徹底し、選考において基準がぶれないよう慎重に議論を行う。 ・障害者スポーツなども含め幅広い選考となるよう取り組む。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ振興協働化事業							事業コード	650102					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	240	頁
計画期間	開始年度	昭和56年度		終了予定年度	令和10年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	スポーツ振興協働化事業補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・本市とスポーツ協会の協働による市民スポーツの支援や全国規模の大会誘致をすすめる。 ・本市が実施するスポーツ振興施策を共に進め、市民スポーツの活性化や生涯スポーツを普及し本市のスポーツ振興を促進することを目的とする。					
対象者	(一財)福知山市スポーツ協会・全市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,835		9,770		10,377		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	8,835		9,770		10,377				
予算財源内訳	① 一般財源	8,835		9,770		10,377				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	8,835		9,770						
	③ 執行額	8,835		8,601						
	④ 執行率	100.0%		88.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.25	/	0.00	0.34	/	0.00	0.34	/	0.00
	② 概算人件費	2,000		2,720		2,720		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,835		11,321		2,720		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	スポーツ主催事業参加者数	人	946	/	2000	-	/	2000	307	/	2000
	スポーツ教室参加人数	人	0	/	0	0	/	0	126	/	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	スポーツ主催事業開催数	回	5	/	8	-	/	8	3	/	8
	単位あたりコスト		1767.0		0.0		2867.0				
	スポーツ教室実施種目	種目	0	/	0	-	/	0	1	/	16
		単位あたりコスト					8601.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市のスポーツ振興の目的を共有して実施していくためにスポーツ関係団体を総括するスポーツ協会の役割は大きく必要性は高い。 令和3年度は、スポーツ協会の組織と人材を活用した共催事業やスポーツ教室を予定していたが、コロナ禍により当初の計画どおり実施できていない。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	令和3年度からはスポーツ協会のもつ組織力やノウハウを活用して市委託事業の受託などの財源確保にも努めている。安定した事務局運営には一定の補助金も必要である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・市民スポーツの振興に向けては、加盟団体が円滑な事業運営を行うことが必要であり、京都府スポーツ協会との連携や加盟団体主催事業の実施など市民スポーツ振興の取り組みを実施した。 ・各団体を総括するスポーツ協会の担う役割は本市のスポーツ行政の中心でありその有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・市と共催による福知山マラソンをはじめとした市民参加型のスポーツイベントの実施においては、加盟団体をはじめスポーツ協会が中心的な役割を担い事業を円滑に進めている。 ・令和2、3年度は多くの事業が新型コロナウイルス感染症によりやむなく中止とした。 ・今後のスポーツイベントの実施にあたり、感染症対策も講じ、安心・安全な事業運営のための経費や取り組みが必要となる。		
改 善 策	・本市のスポーツ関係団体の統括や、市民スポーツの普及等、スポーツ協会の果たす役割は大きく、本市スポーツ推進計画の理念である「する」「みる」「ささえる」「はじめる」スポーツを推進するため、更なる市との協働により取り組みを進めていく。 ・そのためには、事務局の安定した運営のための支援は必要であるが、民間資本の活用なども含め財源の確保に努め、福知山市は政策立案、スポーツ協会は実行組織として役割分担し、お互いが協議・連携し進め、総合的に市のスポーツ振興を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ推進委員会事業							事業コード	650103					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	240・242	頁
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和10年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	スポーツ基本法、福知山市スポーツ推進委員に関する規則													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	スポーツ基本法に基づき委嘱を受けたスポーツ推進委員が、市民のスポーツへの感心を高め、幅広いスポーツ活動への助言、指導を行い、本市のスポーツを推進することを目的とする。					
対象者	全市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,997		3,041		3,442		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		2,997		3,041		3,442								
予算財源内訳	① 一般財源	2,997		3,041		3,442								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	△ 39		△ 60										
	② 配当予算	2,958		2,981										
	③ 執行額	2,228		1,739										
	④ 執行率	75.3%		58.3%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.52	/	0.00	0.39	/	0.00	0.39	/	0.00				
	② 概算人件費	4,160		3,120		3,120		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,388		4,859		3,120		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	派遣講習受講者数	人	925	/	1200	348	/	1200	464	/	1200
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	講師派遣回数	事業	27	/	50	15	/	50	24	/	50
		単位あたりコスト	88.8		148.5		72.5				
	広報誌発行回数	回	2	/	2	2	/	2	2	/	2
		単位あたりコスト	1199.4		1114.0		869.5				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	スポーツ指導派遣依頼も多く、障害者の水泳指導など社会的意義の高い講座もあり、市民のニーズは高い。 スポーツ基本法に基づいた委員であり委員の設置は必要である。 令和3年度は、コロナ禍で回数は減ったものの24回の講師派遣を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	スポーツの基礎的・専門的な指導や助言を市民に行うことで、スポーツの普及、高揚に効果的である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	市民のスポーツ活動の入口として、市民も取り組みやすく有効性は高い。 令和3年度は、市民歩き歩け大会など主催大会の実施や公民館等の地域団体、児童館、高齢者団体に対しスポーツ推進委員を派遣しスポーツ指導を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・市民の幅広いニーズに応じた派遣指導に応じることのできる更なる体制の構築が必要である。 ・市民のスポーツ活動の活性化に向けてスポーツ推進委員の市民への周知が課題		
改 善 策	・市民の多様なニーズに対応できるよう、障害者スポーツの振興に関する取組みを積極的に企画・立案・実施をする。 ・スポーツ推進委員の指導スキルの向上のため研修会等へ派遣する		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ少年団育成事業							事業コード	650104					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
計画期間	開始年度	昭和42年度		終了予定年度	令和10年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市スポーツ少年団育成補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流と少年スポーツの振興と青少年の健全育成を目的とする。					
対象者	スポーツ少年団員		対象者数	700	単位あたりコスト	2.9
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	172		172		130		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	172		172		130				
予算財源内訳	① 一般財源	172		172		130				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 6		0						
	② 配当予算	166		172						
	③ 執行額	146		132						
	④ 執行率	88.0%		76.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.37	/	0.00	0.24	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,960		1,920		1,920		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,106		2,052		1,920		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	団員数	人	637	/ 860	611	/ 860	604	/ 860	/ 860		860
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	助成単位団数	団	32	/ 37	30	/ 37	30	/ 37	/ 37		37
	単位あたりコスト		5.0		4.9		4.4				
	広報誌の発行	回	1	/ 1	0	/ 1	1	/ 1	/ 1		1
		単位あたりコスト	161.2				132.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	日本スポーツ少年団、京都府スポーツ少年団及び近隣市町のスポーツ少年団とも連携した事業を実施し、スポーツを通じた青少年の健全育成をはじめ指導者の育成など少年団活動の効果は高い。 令和3年度は、軟式野球やパレーボールなどを実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	登録料や大会参加料などを主な財源として運営している。また、登録各団も会費等による自主的な活動であり効率性は高い。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	少子化により、団員は減少傾向にあるもののスポーツの普及や青少年の健全育成に取り組む団体として有効性は高い。 令和3年度は、剣道：2団、少林寺拳法：3団、野球10団、サッカー：7団、パレーボール：3団、ミニバスケットボール：4団、ラグビー：1団の計30単位団の活動を支援した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・少子化の影響やスポーツの多様化により、団員数や登録単位団は減少傾向にあり、指導者養成も重要な課題であるが、団員間の交流や指導者の養成等に取り組んでいる。 ・引き続き少年団の認知度を高め、単位団相互の交流等、スポーツ少年団活動をより促進することが重要である。		
改 善 策	・広報誌の発行や、交流大会の開催、指導者養成などにより加盟団体以外にも参加を呼びかける機会を設け組織を活性化する。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	生涯スポーツ推進事業							事業コード	650105		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511		
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	生涯スポーツ社会の実現に向けて、児童生徒から高齢者まで幅広くスポーツに親しむ機会を提供し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツ振興を図ることを目的とする。					
対象者	全市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,839		2,963		3,256		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	3,839		2,963		3,256								
予算財源内訳	① 一般財源	3,839		2,963		3,256								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	6		59										
	② 配当予算	3,845		3,022										
	③ 執行額	3,548		2,928										
	④ 執行率	92.3%		96.9%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.27	/	0.00	0.24	/	0.00	0.24	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,160		1,920		1,920		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,708		4,848		1,920		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	スポーツ教室受講者数	人	607	/	500	337	/	500	126	/	500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	スポーツ教室実施種目	種目	15	/	16	11	/	16	1	/	16
		単位あたりコスト	275.5		322.5		2928.0				
	ニュースポーツ物品貸出件数	件	0	/	0	6	/	50	8	/	50
		単位あたりコスト			591.3		366.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	スポーツ振興に関する事務的経費が中心であり必要である。 令和3年度は、2人の臨時職員を雇用し、効率的に本市のスポーツ振興施策に取り組んだ。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	必要なコストの削減を行い事業を進めている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	関連事業を円滑に行うために必要である。 令和3年度は、本市のスポーツ振興への取り組みに対し、適切かつ効率の良い事務処理を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・本市のスポーツ振興施策を展開していくための事務的経費であり、関係各事業の実施にあたっては、スポーツ協会をはじめとした関連団体と強固に連携することが必要である。		
改 善 策	・関係事業と連携しコストの削減を意識した事業を展開する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	四都市体育大会事業							事業コード	650107					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画						R4現在の状況	継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上をはかり、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を図ることを目的とする。 (四都市体育大会趣旨)					
対象者	四都市体育大会参加者		対象者数	700	単位あたりコスト	4.5
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (大会当番市への負担金交付)					
委託先・実施主体等						
事業概要 (箇条書き)	北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の体育・スポーツ協会所属の団体・競技者による競技会の実施。 競技会は、年次で実施し、冬季大会(スキー種目)・春季大会(陸上競技等 19競技23種目)の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容			
	報償費	14	功労表彰			
	旅費	4	普通旅費			
	負担金補助及び交付金	5	大会負担金			

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	779		1,226		1,779		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	779		1,226		1,779							
予算財源内訳	① 一般財源	779		1,226		1,779							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 14		0									
	② 配当予算	765		1,226									
	③ 執行額	7		22									
	④ 執行率	0.9%		1.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.29	/	0.00	0.39	/	0.00	0.39	/	0.00			
	② 概算人件費	2,320		3,120		3,120		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,327		3,142		3,120		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	参加者数(市)	人	615 / 690	- / 690	- / 690	/ 690	690
	総合順位	位	1 / 1	- / 1	- / 1	/ 1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実施競技数	競技	18 / 19	- / 19	- / 19	/ 19	19
	単位あたりコスト		34.6				
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	四市のスポーツを通じた交流として、各市に定着し、歴史・実績を積み重ねており、京都府北部地域で行う数少ない社会人の大会として認知されている。本大会の開催により府北部の競技団体の連携の機会ともなっている。 令和3年度は、春、冬ともコロナの影響により四市協議のうえ大会中止となった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	競技協会が中心となって大会運営をおこなっており、事業の効率性は高い。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	京都府北部におけるスポーツ振興と競技力向上など有効な事業である。 令和3年度は、春、冬ともコロナの影響により四市協議のうえ大会中止となった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・京都府北部におけるスポーツ振興・競技力向上と四市の親睦を図る大会として、歴史を積みかさねており、市民にも定着している。各市の体育施設も老朽化しており、会場の確保のほか大会日程等も今後の課題である。		
改 善 策	・長年の実施により定例化しているが、国体予選など他大会も同時期に開催されているため、選手確保が困難な競技もあり、実施競技・分散開催も含めた実施時期や会場等、現在の状況に応じた見直し等について、四市で検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山マラソン大会支援事業							事業コード	650109					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画						R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山マラソン交付金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の一大イベントであり、全国有数の歴史・実績・規模を誇る福知山マラソン大会を支援することで、大会を通じた地域の活性化を図ることを目的とする。					
対象者	市民、マラソン大会参加者、応援者		対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	14,000		14,200		24,000		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	△ 10,000		△ 6,500		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		4,000		7,700		24,000							
予算財源内訳	① 一般財源	4,000		0		0							
	② 国支出金	0		0		10,000							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		7,700		14,000							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	4,000		7,700									
	③ 執行額	3,599		7,700									
	④ 執行率	90.0%		100.0%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.63	/	0.00	0.39	/	0.00	0.39	/	0.00			
	② 概算人件費	5,040		3,120		3,120		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,639		10,820		3,120		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	ふるさと納税基金繰入金		種類	基金繰入金		7,700		決算付属資料	40		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	参加者申込人数	人	9480	/ 11200	-	/ 11200	604	/ 5000	/	11200	11200
	RUNET大会レポート評価点	点	71	/ 100	-	/ 100	-	/ 100	/	100	100
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	事務局会議開催回数	回	8	/ 12	3	/ 12	3	/ 12	/	12	12
		単位あたりコスト	1500.0		1199.7		2566.7				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	全国有数のフルマラソン大会として、内外に認知されており、他のイベントによる代替はできない。 市民の認知度も高く観光・宿泊など大会を取り巻く環境への効果からも必要性は高い。 令和3年度は、コロナ禍の影響によりでの大会は出来なかったが、オンラインでの大会を開催し604人の参加があった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	参加料や協賛金を主たる財源としてコストを常に意識し、過去のノウハウも最大限に活かし、効率的に運営している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	多様な参加者ニーズに対応し、他大会の情報収集の積極的に行い、参加者の確保にも努めている。 令和3年度に実施したオンラインマラソンでは、通常のオンライン大会にはないリアルフィニッシュの部を設け、コロナ禍においても福知山に来ていただける環境を提供した。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・新型コロナウイルス感染症により、協賛企業からの収入減少も考えられ、コロナ対策のほか効率的な運営が必要である。		
改 善 策	・各地の大会を参考にし、選手のニーズに沿った大会運営を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ振興事業							事業コード	650111					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和10年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市補助金交付要綱・福知山市スポーツ振興事業補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	全国規模の大会等を誘致・開催し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市民の「みる」「ささえる」スポーツ大会を創出し、市民のスポーツへの関心と競技力を高め本市の更なるスポーツ振興を進めることを目的とする。					
対象者	市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,605		3,201		3,750		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	2,605		3,201		3,750							
予算財源内訳	① 一般財源	1,105		1,101		1,250							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	1,500		2,100		2,500							
決算情報	① 流充用額	0		△ 13									
	② 配当予算	2,605		3,188									
	③ 執行額	1,131		1,055									
	④ 執行率	43.4%		33.1%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.39	/	0.00	0.56	/	0.00	0.56	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,120		4,480		4,480		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,251		5,535		4,480		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ふるさと創生事業基金繰入金		種類	基金繰入金		500		決算付属資料	38		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	主催大会参加選手・役員数	人	766	/	3000	635	/	3000	784	/	3000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	補助対象大会数	回	4	/	10	3	/	10	3	/	10
	単位あたりコスト		567.8		377.0		351.7				
	主催事業大会数	回	5	/	8	3	/	8	3	/	8
		単位あたりコスト	454.3		377.0		351.7				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	大規模大会の開催は、市民のスポーツを「みる」機会の提供に繋がるため、競技団体を通じた大会誘致は必要である。 令和3年度は、第67回全日本総合男子ソフトボール選手権大会近畿予選、2021 HIGH SCHOOL SOFT TENNIS CARNIVAL、福知山東ライオンズクラブ杯第30回日本海高校ソフトテニス大会を開催した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・大会運営は補助金のほか、主管団体の自主財源(参加費、協賛金等)により行っている。 ・全国各地から多くの参加者が本市を訪れることによる経済効果も期待できる。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・スポーツ協会との共催事業については、競技団体が主管し効果的に運営している。 令和3年度は、7月に、サンガスタジアムでホームタウンデーを開催。観光協会と連携したブース出展やハーフタイム時に本市の紹介などを行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・誘致した全国大会等は、継続的に本市で開催できるよう施設・設備をはじめとした受入体制の整備が必要である。 ・ハイレベルな大会を本市で開催することにより市民のスポーツへの関心を深めることに加え、全国大会等に出場することのできるトップアスリートの育成や指導者の養成にもつながる。		
改 善 策	・大規模スポーツ大会開催の誘致等に効果的な取り組みや継続した大会の開催に向けて競技団体等との連携を強化する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	国際大会開催準備事業										事業コード	650113		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進								施策コード	511			
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	森田哲也						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・ワールドマスターズゲームズ2021関西福知山市実施計画				R4現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (R6以降に再開)													
関連事業														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の成功に向け、準備体制の強化を図り、受入態勢を整える。					
対象者	全市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	1.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	145,895		8,836		0		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	56,465		0		0								
	③ 繰越予算	48,341		99,301		0								
	前年度繰越	147,642		99,301		0								
	次年度繰越	△ 99,301		0		0								
小計(①～③)		250,701		108,137		0								
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	11,645		5,777		0								
	② 国支出金	75,376		48,124		0								
	③ 府支出金	13,530		8,636		0								
	④ 地方債	137,400		45,600		0								
	⑤ その他特財	12,750		0		0								
決 算 情 報	① 流充用額	0		14										
	② 配当予算	250,701		108,151										
	③ 執行額	245,614		97,246										
	④ 執行率	98.0%		89.9%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.64	/	0.00	0.56	/	0.00	0.00	/	0.00				
	② 概算人件費	5,120		4,480		0		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		250,734		101,726		0		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	社会資本整備総合交付金(繰越明許費分)		種類	教育費国庫補助金		実績金額	45,473		決算付属資料	22		頁
			広域のスポーツ施設充実支援事業補助金			教育費府補助金			5,005			30		
			国際大会開催準備事業(繰越明許費分)			教育債			33,700			54		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	WMG実施計画策定	計画	1	/	1	0	/	0	0	/	0	1
	チャレンジデーの参加率	%	39.4	/	50	-	/	50	48.8	/	50	50
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	実行委員会	回	2	/	2	1	/	3	1	/	3	3
	単位あたりコスト		27905.4		245614.0		97246.0					
	主要大会等でのPR	回	4	/	5	4	/	10	4	/	10	10
		単位あたりコスト	13952.7		61403.5		24311.5					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	世界最大級の生涯スポーツの祭典である「ワールドマスタースゲームズ2021関西」ソフトテニス競技を円滑に運営し成功に繋げるための準備として必要である。 三段池公園テニスコート照明設備整備工事、フェンス改修工事、三段池公園屋外施設トイレタッチレス改修など円滑な大会運営のための整備を実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	世界最大級の生涯スポーツの祭典である「ワールドマスタースゲームズ2021関西」ソフトテニス競技を円滑に運営し成功に繋げるための準備として必要である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	「ワールドマスタースゲームズ2021関西」を円滑に開催するための事業として有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・「ワールドマスタースゲームズ2021関西」は新型コロナウイルスの影響で再延期(2026年見込)の方針が決定。市実行委員会を中心に機運を継続する取り組みが必要。		
改 善 策	・市内での大規模大会開催による市民の「みる」「する」「ささえる」スポーツへの参画を促進するための取り組みをすすめていくとともに、整備した三段池公園テニスコートを活用した大規模大会の誘致を競技団体等に働きかける。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	トップアスリート育成支援事業							事業コード	650123					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画						R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	○福知山市トップアスリート全国大会出場事業補助金交付要綱、○福知山市ジュニア育成大会等運営補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	競技者やジュニアスポーツの支援に加え、市外スポーツ団体との交流を促進し、本市の競技スポーツの普及と振興を図り全国大会等へ出場する選手の支援を目的とする。				
対象者	トップアスリートをはじめとする市内競技者(各競技協会登録者数)	対象者数	8,400	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,700		2,700		2,700		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		2,700		2,700		2,700								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	2,700		2,700		2,700								
決算情報	① 流充用額	△ 211		0										
	② 配当予算	2,489		2,700										
	③ 執行額	179		549										
	④ 執行率	7.2%		20.3%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.27	/	0.00	0.34	/	0.00	0.34	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,160		2,720		2,720		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,339		3,269		2,720		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ふるさと創生事業基金繰入金		種類	基金繰入金		実績金額	534		決算付属資料	38		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	全国大会出場者(団体)	人	99	/	200	16	/	200	56	/	200
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	補助金申請件数	件	33	/	50	7	/	50	23	/	50
	単位あたりコスト		65.8		25.6		23.9				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	全国大会出場や競技人口の拡大、競技力の向上に係る支援事業として、スポーツ協会や競技団体のニーズは高く、ジュニアのソフトテニス、バスケットボールの2件を支援した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	要綱に基づいて適正に実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	福知山市スポーツ推進計画の理念である「する」「みる」「ささえる」「はじめる」スポーツの推進に寄与している。本市のジュニア層の選手の競技力向上と心身の健全な発達をより一層促すことができている。 全国大会等への出場の際の負担軽減に有効であり、19件の個人、団体等に対し交付した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・本市から全国大会等へ出場する選手の育成を支援することで競技人口の拡大や競技力の向上に効果がある。		
改 善 策	・スポーツ振興協働化事業と合わせて民間資金や活力を活用し、福知山市スポーツ協会による柔軟な事業運営で、本市の競技者の競技力向上と郷土愛をばぐむとともに、本市を全国に発信するトップアスリートの育成を図る事業とする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	オリンピック聖火リレー実施事業							事業コード	650129		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進					施策コード	511			
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	242	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名					R4現在の状況	廃止/休止
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により2021年に延期された東京2020オリンピック聖火リレーを実施する。					
対象者	市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

Ⅲ 予算執行状況														
区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,258		0		0		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	2,474		0		0								
	③ 繰越予算	△ 9,706		9,706		0								
	前年度繰越	0		9,706		0								
	次年度繰越	△ 9,706		0		0								
	小計(①～③)	26		9,706		0								
予算財源内訳	① 一般財源	8		7,461		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	9		2,245		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	9		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	26		9,706										
	③ 執行額	25		2,062										
	④ 執行率	96.2%		21.2%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.26	/	0.00	0.56	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,080		4,480		0		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,105		6,542		0		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	オリンピック聖火リレー実施事業(京都府東京2020聖火リレー事業補助金)(経路分)		種類	教育費府補助金		実績金額	420		決算付属資料	30		頁

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	観覧者数(小学生)	個	0	/	0	-	/	700	0	/	700
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	イベント周知事業所数	回	255	/	150	800	/	150	0	/	300
		単位あたりコスト	2.6		0.0						
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	東京2020オリンピック聖火リレーは、市民の注目度も高く官民協働により実施する事業である。 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言下において、亀岡市の京都府立京都スタジアムで、無観客でのリレーと点火セレモニーに変更のうえ令和3年度に実施された。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	必要物品の多くは、東京2020組織委員会が指定する仕様であり、統一のものである。 聖火リレーの運営方法も組織委員会で細部まで定められている中で、コスト意識をもって実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	注目されている聖火リレーを実施することは、市民へのスポーツの関心の高揚に非常に有効である。 新型コロナウイルス感染症の拡大により公道での聖火リレー実施は中止になったが、注目度も高くスポーツへの関心に繋がる事業展開であった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・世界的なスポーツイベントである東京2020オリンピックの機運醸成や、聖火リレーを通じて市民の地域への愛着の醸成に繋がる事業である。 令和3年度をもって終了		
改 善 策	・5月25日(火)に本市で実施予定だった聖火リレーは、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言下において、亀岡市の京都府立京都スタジアムで、無観客でのリレーと点火セレモニーに変更のうえ実施された。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により公道での聖火リレー実施は中止になったが、注目度も高くスポーツへの関心に繋がる事業であった。 令和3年度をもって終了		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	パラリンピック聖火フェスティバル実施事業							事業コード	650139					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	01 保健体育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	244	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							R4現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により2021年に延期された東京2020パラリンピックの聖火フェスティバルを実施する。					
対象者	市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	653		704		0		予算編成時記入 (3次公表時)							
	② 補正予算	△ 653		0		0									
	③ 繰越予算	0		0		0									
	前年度繰越	0		0		0									
	次年度繰越	0		0		0									
	小計(①～③)	0		704		0									
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0									
	② 国支出金	0		0		0									
	③ 府支出金	0		0		0									
	④ 地方債	0		0		0									
	⑤ その他特財	0		704		0									
決算情報	① 流充用額	0		0											
	② 配当予算	0		704											
	③ 執行額	0		473											
	④ 執行率	0.0%		67.2%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.56	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	0		4,480		0		0		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		4,953		0		0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	ふるさと創生事業基金繰入金			種類	基金繰入金		実績金額	472		決算付属資料	38		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	灯籠製作数	個	0	/	0	0	/	200	150	/	200
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	ワークショップ実施回数	回	0	/	0	0	/	1	1	/	1
	単位あたりコスト						473.0				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市民の注目度も高く官民協働により実施する事業である。 令和3年度は、京都府立中丹支援学校の児童・生徒や一般公募で集まった市民が、作成した灯籠に点火するイベントを実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	必要物品の多くは、東京2020組織委員会が指定する仕様であり、統一のものである。 運営方法も組織委員会で細部まで定められている中で、コスト意識をもって実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	注目されている聖火フェスティバルを実施することは、市民へのスポーツの関心の高揚に非常に有効である。 令和3年度は、関係者のみでの聖火フェスティバルの開催となったが、注目度も高くスポーツへの関心に繋がる取り組みだった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・世界的なスポーツイベントである東京2020/パリンピックの機運醸成や、聖火フェスティバルを通じて市民の地域への愛着の醸成に繋がる事業である。 令和3年度をもって終了		
改 善 策	・京都府立中丹支援学校の児童・生徒や一般公募で集まった市民が、作成した灯籠に点火するイベントを実施し聖火を採火した。聖火は、パリンピック開催地に届けるため、翌日京都府に届けた。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により関係者のみの聖火フェスティバルの実施となったが、注目度も高くスポーツへの関心に繋がる事業であった。 令和3年度をもって終了		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	体育施設維持管理事業							事業コード	650323					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	02 体育施設費		会計	01 一般会計	決算付属資料	244	頁
計画期間	開始年度	平成16年度		終了予定年度	令和10年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	体育施設の適切な維持管理により、市民ニーズに即した安心・安全なスポーツ環境を提供する。					
対象者	全市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	1.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	45,719		105,361		106,304		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	315		2,658		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		46,034		108,019		106,304						
予算財源内訳	① 一般財源	42,287		102,987		99,553						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	3,747		5,032		6,751						
決算情報	① 流充用額	73		0								
	② 配当予算	46,107		108,019								
	③ 執行額	46,107		107,957								
	④ 執行率	100.0%		99.9%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.67	/	0.00	0.49	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	5,360		3,920		3,920		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		51,467		111,877		3,920		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	夜久野町運動広場他使用料		種類	教育使用料		1,030		決算付属資料	12	頁
			自動販売機設置貸付収入(温水プール)他			財産貸付収入		733			34	
			ネーミングライツ料他			雑入		3,269			44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標			
	指定管理施設利用者数	人	146114	/	200000	96124	/	200000	190977	/	540000	/	540000	200000
	(R3より三段池、長田野スポーツ施設を加算)			/		/		/		/				
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標			
	指定管理施設数	施設	6	/	6	6	/	6	12	/	12	/	12	3
		単位あたりコスト	16326.0		7684.5		8996.4							
	(R3より三段池、長田野スポーツ施設を加算)			/		/		/		/				
		単位あたりコスト												

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	体育施設の適正かつ安心・安全な利用に向けて必要な事業であり、主要施設は、指定管理者制度を導入し民間事業者により運営している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	指定管理者制度により、効果的・効率的に運営している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・市民のスポーツ環境を把握するために施設利用者数を計上することは適当である。また、利用者数も指定管理者により適正に把握されている。 ・ネーミングライツの導入により財源確保に努めている。 ・団体の定期的な利用があるなど施設の有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・施設の老朽化等により、修繕を要する施設が多数である。また、緊急的な修繕が必要になる可能性もある。		
改 善 策	・本市スポーツ推進計画に基づき、効率性の高い施設の管理運営手法についても検討することが必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	体育施設設備整備事業							事業コード	650337					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進						施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	02 体育施設費		会計	01 一般会計	決算付属資料	244	頁
計画期間	開始年度	平成16年度		終了予定年度	令和10年度		関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	体育施設の維持保全と機能充実に、施設利用者の利便性と安全性の向上を図ることを目的とする。					
対象者	全市民		対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,000		16,540		38,733		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		21,000		0							
	③ 繰越予算	0		△ 19,768		19,768							
	前年度繰越	0		0		19,768							
	次年度繰越	0		△ 19,768		0							
	小計(①～③)	2,000		17,772		58,501							
予算財源内訳	① 一般財源	900		4,127		6,000							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		2,433							
	④ 地方債	0		3,400		15,300							
	⑤ その他特財	1,100		10,245		34,767							
決算情報	① 流充用額	191		0									
	② 配当予算	2,191		17,772									
	③ 執行額	2,191		15,717									
	④ 執行率	100.0%		88.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.39	/	0.00	0.39	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,760		3,120		3,120		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,951		18,837		3,120		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	公共施設等総合管理基金繰入金		種類	基金繰入金		5,600		決算付属資料	40		頁
			保健体育事業債(体育施設設備整備事業(緊急防災・減災))			教育債		3,700			54		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	所管体育施設利用者数	人	184762	/	230000	139092	/	230000	205637	/	570000
	(R3より三段池・長田野公園のスポーツ施設を含む)		/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	改修・修繕実施施設数	事業	2	/	2	4	/	1	3	/	3
	単位あたりコスト		3907.2		547.8		5239.0				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	多様化するスポーツニーズに対応した機能向上と、施設老朽化に伴う維持保全は必要性が高い。 令和3年度は、民間活力による温水プールの移設整備に向け、連携先となる民間事業者をプロポーザルにより選定した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・改修工事等の執行にあたっては、競争入札等を採用し、競争の原理のもと適正に実施している。 ・対象とする施設についても福知山市スポーツ推進計画及び福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき選定している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	施設整備により、利用者の利便性の向上と安全確保を図ることができるとともに、機能性向上による大規模大会の誘致にも有効である。 令和3年度は、温水プールの移設整備に伴い、旧市民運動場庭球場を新たに駐車場として整備し、施設の効率的なマネジメントにも取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・市内に点在する多くのスポーツ施設の老朽化が進んでおり、修繕費用がますます増大するおそれがある。		
改 善 策	・施設の老朽化や市内各地に点在する多くのスポーツ施設の機能集約や利活用について検討し、本市スポーツ推進計画及び公共施設マネジメントに基づいた計画的で効率的・効果的な施設の維持管理を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	チャレンジデー実施事業					事業コード	650152			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり			
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511			
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	森田哲也			
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R4現在の状況	継続中
根拠法令等										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	チャレンジデーを実施により、スポーツの習慣化や住民の健康増進、スポーツ実施率の向上、地域の活性化を図る。 チャレンジデーの実施【概要】 人口規模が近い自治体間で運動やスポーツを行った住民の「参加率(%)」を競い、敗れた自治体は相手の自治体旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚するユニークなルールで開催される住民総参加型のスポーツイベント。毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される。									
対象者	市民				対象者数	77,000		単位あたりコスト		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	チャレンジデー実施のための福知山市チャレンジデー実行委員会への補助金									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容						

III 予算執行状況

区 分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算				280		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①～③)	0	0	0	280				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	#N/A						
	② 配当予算	0	#N/A						
	③ 執行額	0	#N/A						
	④ 執行率								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	/	/	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費		0		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	#N/A		0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	チャレンジデー参加率		/	/	/	/ 52	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	チャレンジデーイベント参加団体		/	/	/	/ 15	
	単位あたりコスト						
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題			
改 善 策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--